

## 「F-ACTOR の会」研修会

# 精神障がい者と家族の地域での暮らしづを 支えていくための試み フィンランドでは？熊本では？福島では？

精神障がい者やその家族の地域での生活を支えていこうと訪問看護やアウトリーチに取り組んでいる熊本と福島のチームのメンバーが、オープンダイアローグを実践しているフィンランドに行ってきました。そこで見たこと、聞いたこと、体験したことを皆様と共有し、オープンダイアローグの中で用いられているリフレクティングを取り入れた支援の方法や、現在、それぞれの地域で実践していることを報告しながら、会場の皆様と一緒に、これからどのようなことを試みていったらよいか、話し合っていきたいと思います。

【日時】2020年2月9日（日） 13時～16時

【場所】福島県立医科大学 8号館 S301 教室

【内容】

13:00～14:30 報告：フィンランドでの「オープンダイアローグ」の視察報告  
熊本での「桜が丘病院アウトリーチセンター」の実践報告  
福島での「なごみ」の実践報告

報告者：矢原隆行氏（熊本大学）・大嵩高昭氏（桜が丘病院）・小林幹穂氏（桜が丘病院）

三澤文紀氏（福島県立医科大学）・円谷善孝氏（矢吹病院）

木島祐子氏（訪問看護ステーションなごみ）・大川貴子氏（福島県立医科大学）

14:45～15:15 グループディスカッション

15:15～16:00 全体での共有

主催：F-ACTOR の会（本事業は復興庁コーディネーター事業の予算での補助を受けて実施）

共催：福島県立医科大学看護学部精神看護学（科研基盤研究B「地域における精神障害者家族に対するリフレクティングを用いた実践的介入モデルの開発」）